



第51回輝丘祭 《結～紡げ私たちの想い～》(第1部)が終わりました ご来校いただきありがとうございました

今年度は、開祭直前で新型コロナウイルス感染警戒レベルが下がったため、一部を変更しながらも依然として感染防止対策を重視しての輝丘祭となりました。ご来賓の皆様と保護者の皆様にはご不便をおかけすることになりましたが、ご協力頂きましたことに心より感謝申し上げます。おかげさまで、予定通り終わることができ、子どもたちそれぞれの頑張りをみることができました。

すでにお知らせいたしました様に、音楽会とスポーツ祭は、10月29日(金)に第2部として予定しておりますので、今後もよろしくお願い申し上げます。

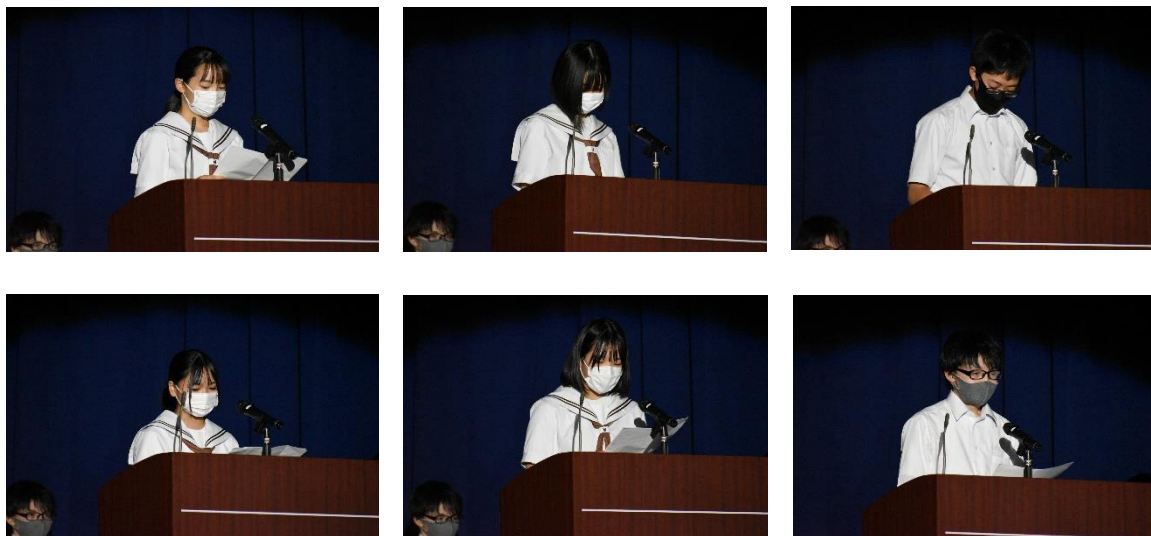
【輝丘祭(第1部)の様子】



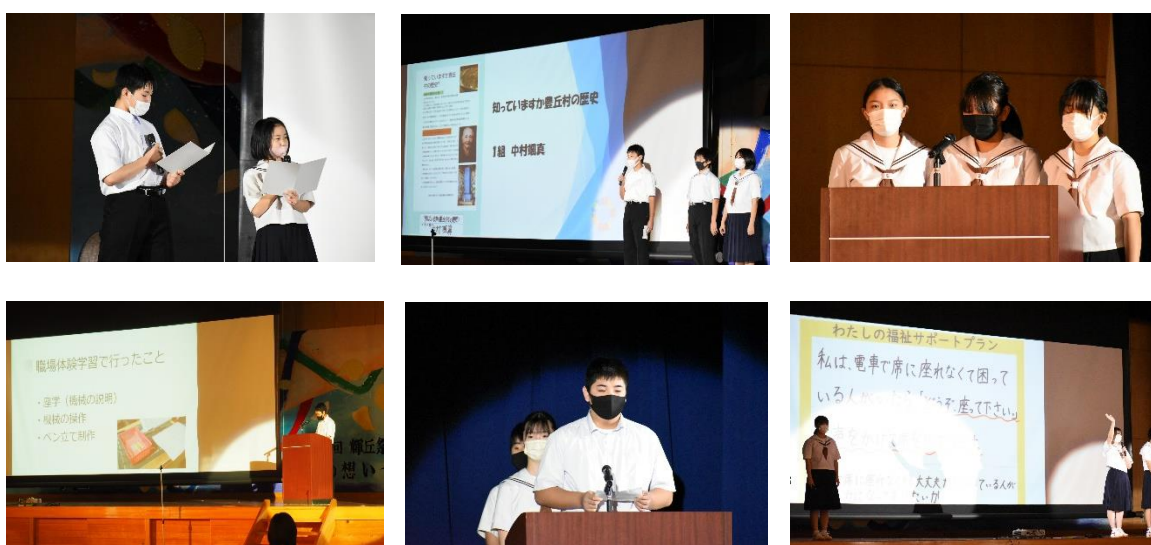
～ 想いが詰まった、練り上げられた開祭式 ～



～ きれいな発音とともに自分の考えをしっかりと伝える英作文発表 ～



～ 自分の将来を考え、思いを堂々と伝える意見文発表～



～ 学習の深さが伺える内容の濃い総合的な学習の時間の発表 ～



～ 東京オリンピックを彷彿とさせる、生徒会企画 TOYOLYMPIC (トヨリンピック) の盛り上がり～



～ 全校生徒の力の結集、見事な「全校制作」・日々の学習の成果、「作品展示」 ～

一人一人がこれまで培ってきた自主性と主体性を発揮。その個性を、想いを、全員で紡いだ輝丘祭。この絆で10月29日、全校で「結」を完結させよう！

第1部終わりの会 校長の話より

輝丘祭の第1部は、ご来賓と保護者の皆さまをお迎えし、凜とした空気の中、寸劇やオープニングムービーなどによる開祭式が始まりました。石原生徒会長の『伝説の勇者』を始めとし、「豊丘中にも役者がいるな」と思った瞬間でした。緊張の中でも、精一杯の演出を頑張ってくれました。

『みんなで作り上げた見事なステージバックやパンフレットやポスター作品』

「全校生徒が手を取り合う」その意味することを語ってくれた、2年1組池野彩夏さんの想いを全校生徒で共有できた素敵な始まりでした。また、1年1組西島凜夏さんのパンフレット表紙、最優秀賞2年1組遠山珠々さん、優良賞3年1組関島菜月さんのポスター、いずれもこの輝丘祭の願いが込められた素晴らしい作品です。

『英語スピーチ』

6名の発表者のみなさんは、全校生徒の前で英語で話す緊張感を乗り越え、学級の代表として立派に発表してくれました。スクリーンの準備のお陰で、1年生も理解することができました。英語力は世界につながる力です。来年こそは、自分がそのステージに立ちたいと感じた1、2年生もいたことでしょう。ご来賓の方も感心しておられました。みんなが憧れる発表でした。

『意見文発表』

今年のテーマは、「なりたい大人」でした。私は以前から、みなさんに「なりたい自分は？」と問いかけてきましたが、今日の6名の発表内容に大変心を打たれました。皆さんは、どの発表が印象的でしたか？「自分から動ける大人」「親切な大人」「人に頼られる大人」「感謝の気持ちを持ち、周りに優しくできる大人」「自分の力で困っている人を助けられる、強くて優しい大人」「人の命を大切にできる大人」との発表でした。

6名の発表に共通していたことが3つありました。「少しの勇気を持つこと」「今できることを頑張ること」「人を思いやり相手の立場になること」でした。

全校生徒のみなさんも、「なりたい自分の姿」をここ（頭上）に置きましょう。私を含め、人間は誰でも、「弱さ」や「するさ」を抱えて生きています。だからこそ、「めざしたい素敵な自分の姿」のイメージを持つ必要があると思っています。

『総合的な時間の学習発表』

どの学年も、自分たちの学びを堂々と発表してくれました。

1年生では、最初に登場した2人の流れるような進行、原稿を一切見ないで発表した3人、また、中村くんの「土器だけに」のくだりに笑わせてもらいました。

2年生は、昨年度、今の3年生ができなかった職場体験について発表してくれました。体験した職場によって、本当に多くのことを学んできたことがわかる、端的でわかりやすい発表でした。最後に発表してくれた、「人と人との関わりを大切にすること」「中学校での一日一日を大切にすること」は、先の意見文発表で共通していた想いと重なる部分がありました。

3年生の「福祉学習」の発表は、聴いている人に「福祉とは何か」「幸せとはどういうことなのか」を考える機会をくれるものでした。体験的な学習をいくつも積み重ねてきたことがわかります。最後の福祉サポートプランでは、「自分が取り組みたいサポート」を具体的に宣言してくれました。少し勇気がある行動かもしれませんが、みなさんが「勇者」となれることを信じ、応援しています。

『作品展示』

作品展示の見学はどうでしたか？立派な仕上がりも見事ですし、展示できるまでにきっと見えない苦労があったことも想像しつつ、ゆっくりと見せてもらいました。

『生徒会企画』

午後の生徒会企画「TOYORINPIC（トヨリンピック）」は、コロナ禍での感染レベルが高い頃から工夫して考えてくれたものでした。どの競技も今後、学級レクなどで楽しめそうですね。

リモートの距離感を感じながらも全校が一つになり、体育館にいる選手も全力で頑張っていました。

全校生徒が一つになるということは、ただみんなと同じことをすることだけではありません。一人ひとりが、それぞれの色を持ち、自分の力を試せる場所で輝くことだと思います。今日一日、ステージ発表で頑張った人だけでなく、登校することや体育館に入って参加することを頑張った人たちもいます。それぞれの場所で、自分の力を精一杯試すことができれば、それが輝丘祭第1部の成功と言えるはずですよ。

最後に、開祭式から参観して下さった豊丘南小・北小学校の校長先生がこの様におっしゃってくださいました。

「中学生ってすごいですね～。こんなことができるのですね～。6年生と1年しか変わらないとは思えません。6年生にも見せてあげたかったです。」これを聞いて、私はとてもうれしかったです。最高の褒め言葉だと思いました。

さあ、みなさん。10月29日 第2部の音楽会、スポーツ祭でも、みなさんそれぞれが精一杯頑張る姿が見られることを期待しています。来週からまた、日々の学校生活を大切に、その日に向けて準備していきましょう。